

# 勢和小学校だより

発行日：令和6年9月24日

第9号



## 通知表 「あゆみ」の見方について

2020年に「学習指導要領」が改訂され、評価の観点が「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学びに向かう力」の3観点に変わりました。

「**知**識・技能」では、新たに学習した知識や技能が定着しているかをペーパーテストや実験・観察のレポート、ノートやプリントの記述内容、実技などの結果を総合的に評価します。

「**思**考力・判断力・表現力等」では、獲得した知識や技能を生かして更に課題を見つけたり、新たな考えを導き出したりしているかについて、ペーパーテストの他、グループ討議内容、発表活動、表現活動および活動をまとめたポートフォリオなどを参考に評価します。

「**主**体的に学びに向かう力」では、課題解決に向けて意欲的に取り組んでいるか、またよりよく内容を理解したり活動したりするために自分で工夫や努力をして学びを調整しているかについて、授業中の様子、ノートやプリントに記述させている振り返りの内容、授業中の発表内容などを総合的に評価します。

本校ではこれら3観点についてそれぞれ「よくできる」「できる」「もう少し」で評価しています。いずれの観点でも到達基準は「できる」です。それぞれの学習活動において到達させたい力がついていると判断した場合に「できる」と評価します。ただし、「あゆみ」は前期分、後期分と期間の長い評価結果のため、一部の単元では「もう少し」や「よくできる」の評価であっても、総合的に「できる」となる場合があります。一方で「もう少し」という評価でも「できる」となっている単元が含まれていることもあります。「よくできる」の場合は、全ての単元で「できる」かつ到達基準をかなり上回っているということです。

前期末にお渡しする「あゆみ」をご覧になり、お子さんとこれまでの学習の様子を振り返るとともに、今後はどうしていくことが大切か、一緒に考える機会をつくってください。そして、お子さんの頑張りを認め、次への意欲を高めてやってください。学校では「あゆみ」を渡す際によかったところを認め、「もう少し」のところはどうしたらいいか一緒に考え、子どもの学力や生活力の向上につながるよう関わっていきます。一緒に子どもたちの力を伸ばしていきましょう。ご理解とご協力をお願いします。

## 5年生で知的書評合戦

子どもたちに読書への関心を深めるため、5年生を対象にした知的書評合戦を行いました。



知的書評合戦は、出場者が紹介する薦めたい本に会場で聴いている人が投票し、【裏面に続く】

チャンプ本を決めるものです。

今回は勢和図書館司書2人、本校司書、5年生担任が薦めたい本をそれぞれ紹介し、5年生が気に入った本に投票しました。

合戦で紹介された本は「いつかの約束1945（山本悦子著）」、「世界ぐるぐる怪異紀行（奥野克巳著）」、「アブダラと空飛ぶ絨毯（ダイアナ・ウイン・ジョーンズ著）」、「ひみつ（福田隆浩著）」の4冊で、5年生の投票の結果「ひみつ」がチャンプ本に選ばれました。

## 緊張感のある避難訓練

9月5日に地震（震度6強）とそれに伴う火災発生を想定した避難訓練を行いました。

本校の避難訓練では実践に近づけた訓練を意識し、棚が倒れたり、ドアが開かなくなったりして通れない所や、ガラスが散乱しているため通れるけれど気をつけなければならない所などを張り紙などで設定しています。

職員にも、通れない場所や火災発生場所は知らせず、避難経路を確保し子どもたちを安全に避難させたり、初期消火に対応したりできるよう、職員の訓練も兼ねています。

訓練では、1Fから3Fにいる職員が児童の安否を確認した後、安全な経路はどこなのか被災の状況を大きな声で共有し、避難誘導していました。

今回は火災発生により防火扉が閉まる設定だったため、火元を避けた避難で、渋滞が発生し子どもたち全員が避難するまでに時間がかかりましたが、職員の真剣な動きも一因となっただけで、子どもたちは「おかしもち」を守り、またふざけることなく訓練に参加することができました。

今回の訓練で浮き彫りになった課題を解消し、実際の場面でも児童の安全確保が確実にできるよう安全教育を進めるとともに職員研修を進めます。

## ■台風・大雨時の対応

夏休み中に発生した台風10号では、暴風警報は発令されませんでした。避難指示が出される事態となりました。台風が三重県に近くなっても線状降水帯が発生し、土砂降りとなり場所によっては冠水していました。

今回の台風10号のような状況は今後も予想されることから、子どもたちの安全確保のため、本校の対応・対策の見直しを進めています。

荒天時の対応では、子どもたちの危険回避のため、町教委や他の学校とも連携し、またメディアから情報収集を行うなどして早めの判断を心がけますが、状況の急激な変化でお迎えや急な臨時休校などの対応をお願いすることがあります。お迎えについては9月17日配布文書でご確認ください。ご理解とご協力をお願いします。

## ■南海トラフ地震臨時情報発令時の対応

夏休み中には南海トラフ地震臨時情報（注意または警戒）が初めて発令され、各地では解除になるまで避難準備をしながら日常生活を送ってきました。

今回の臨時情報は夏休み中の発令でしたが、仮に授業日に発令された場合、学校としての対応は**注意の場合・・・注意対応を取り、学校生活を継続警戒の場合・・・1週間ほどの臨時休業**が、基本となっています。

しかし、発令時の状況によっては様々な「注意対応」が予想されます。台風時等の対応と同様、他校や町とも連携しながら判断・対応していきます。